

2010年度

科目名	歴史地理学A		
担当教員	塚口 義信		
配当	文 3・教育3・人間3	コード	12200
開期	前期	講時	月曜日2限
		単位数	2
授業テーマ	歴史地理学における「地名」と「交通」の重要性		
目的と概要	歴史地理学とは一言でいえば、人文地理学的な現象を歴史的に研究する学問である。その対象とする領域は産業・文化・集落・交通・人口など多岐にわたるが、本講義では主として「地名」と「交通」を手がかりに地域の特性を探り、古代日本の新しい歴史像を提案する。なお、皆さんのご都合がよければ、臨地講義も行いたいと考えている。		
成績評価法	試験70%、授業時のレポート15%、平常点15%		
テキスト	使用しない。		
参考書	授業中に適宜紹介する。		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
第 1 回	はじめに—授業の目的と内容—		
第 2 回	平城京と難波宮を結ぶ道 (1)		
第 3 回	平城京と難波宮と結ぶ道 (2)		
第 4 回	大和川の付替えと古大和川		
第 5 回	竹原井離宮と知識寺行宮 (1)		
第 6 回	竹原井離宮と知識寺行宮 (2)		
第 7 回	臨地講義 (予定)		
第 8 回	竹原井離宮と知識寺行宮 (3)		
第 9 回	東大寺の大仏と河内の知識寺 (1)		
第 1 0 回	東大寺の大仏と河内の知識寺 (2)		
第 1 1 回	古代における駅制と河内・大和の駅家 (1)		
第 1 2 回	古代における駅制と河内・大和の駅家 (2)		
第 1 3 回	法円坂遺跡の巨大倉庫群とヤマト政権 (1)		
第 1 4 回	法円坂遺跡の巨大倉庫群とヤマト政権 (2)		
第 1 5 回	まとめ		